



クラブ会員らの作品計54点が展示された絵画クラブ展

公民館ホールが美術館に
 市中央公民館ホールで11月24日から鷹巣絵画クラブ(成田知枝会長)の第39回クラブ展が開かれました。
 同クラブは、30年ほど前に発足した絵画愛好家によるサークルで、会員は鷹巣、合川、森吉地区の24人の会員で構成されています。ホールには、県展入選作など会員12人の近作37点のほか能代市から3人9点の作品が出品されました。また、このほど亡くなられた会員の遺作8点も合わせて展示されました。
 展示されたのは、季節感豊かな風景画や静物、抽象画などの洋画が中心で、また、銅版打ち出しによるレリーフの彫金作品なども入場者の目を引いていました。



満面の笑顔でポーズをとる子どもたち

あこがれの制服を着て大人気分
 大館能代空港ターミナルビルで11月23日、「ちびっこ制服撮影会」が開かれ、パイロットなどの制服に身を包んだ子どもたちが、うれしそうな表情で写真に収まりました。
 同空港ターミナルビルが子どもたちに働く大人への憧れを育ててもらおうと企画したもので、勤労感謝の日になんだ新しいイベント。ANA、秋田県警、消防署の協力を得て、パイロット・キャビンアテンダント・航空整備士・警察官・消防士(制服・耐火服)の子ども制服が用意されました。
 撮影会には午前、午後の部合わせて約200人の子どもたちが訪れ、制服を着た子どもたちは、満面の笑顔で両親らが向けるカメラに向かってポーズを取っていました。



会員による寸劇も行われた研修会

うまい話にご用心
 「賢い消費者となるために」研修会
 北秋田市・上小阿仁村連合婦人会主催の消費者問題研修会が12月5日、阿仁ふるさと文化センターで開かれ、健康で安全な消費生活について知識を深めました。
 研修会では、健康の根本となる食についての知識、特に高齢期の食生活のポイントや悪質商法の実態について学びました。
 県生活センターの高橋智香子さんによる講演では、巧妙化している悪徳商法の手法について実例を挙げ、トラブルに巻き込まれないための細かいアドバイスを受けました。被害を防ぐには、地域の連携が大切と説かれ、地域を守るため婦人会の果たす役割について理解を深めました。



鍬入れを行い工事の安全を祈願する岸部市長

21年10月の開院を目指しつつ音
 北秋田市民病院起工式
 平成21年10月の開院を目指し、県立北秋の杜公園の一角に整備を進めている北秋田市民病院の起工式が12月5日、現地で行われ、関係者が工事の安全を祈願しました。
 神事では、岸部市長と工事関係者の代表が鍬入れをして工事の無事を祈りました。岸部市長は「この場所は、県と国の協力、それに市議会の理解を得て決定した建設地。昨日厚生労働大臣から同意書も届き、いよいよ着工が始まる。完成まで2年近くかかるが、立派な市民病院ができることを期待する」とあいさつしました。
 建築工事の工期は平成21年8月。工事完了後、機器の設置や既存病院からの患者移送を行い、同年10月に開院の予定です。



昼食持参で鑑賞に訪れた家族もいました

昭和の懐かしい名作を鑑賞
 優秀映画鑑賞会、「キューポラのある街」など
 名作映画を上映する「優秀映画鑑賞会」が12月2日、市文化会館で開かれ、約200人の観衆が昭和30年代から40年代に制作された懐かしいフィルムの上映会を堪能しました。
 この日上映されたのは、「キューポラのある街」「けんかえれじい」「八月の濡れた砂」「伊豆の踊り子」の青春映画特集4本で、11月18日には合川公民館でも上映会が行われ、多くの市民が鑑賞しました。
 上映会終了後集まったアンケートでは、ぜひまた企画してほしいとの声も多かったことから、市文化会館では来年度も継続して開催することを検討しています。



これまでで一番大きなものができたしめ縄づくり

願いを込めて大しめ縄づくり
 綴子神社氏子青年会
 綴子神社氏子青年会(三沢定幸会長、会員84人)による大しめ縄作りが11月25日、綴子下町自治会館で行われ、会員らが製作作業に精を出しました。
 同青年会では、神社と地域への奉仕活動、伝統技術の継承などを目的に2年前から同神社に飾るしめ縄作りを始めたもので、この日、会員10人が参加して、同神社の武内尊英宮司が見守る中で作業が進められました。
 縄の材料となるスゲの量は一畝分約1000mほど。完成した10mにもなる大しめ縄は、12月中旬に綴子神社の正面の鳥居に飾られ、新年を迎える準備を整えます。